

令和5年度中小企業組合等課題対応支援事業
(中小企業組合等活路開拓事業)
ワーキング委員会C(第1回)

——【ワーキング委員会C_会議資料】

テーマ 『各種法令を遵守した地球環境・労働者に優しい事業』

- ①本補助事業の概要・目的・各委員会の役割について
- ②アンケート結果の報告
- ③専門家委員からのヒアリング
(アンケート結果の感想、現状認識、各社の販売方針、テーマ実現に向けた提言など)
- ④テーマ実現に向けたアクションプランの検討
- ⑤第2回ワーキング委員会Cの開催について

①本補助事業の概要・目的・各委員会の役割について

事業テーマ

「日車協連SDGs宣言」を通じ、持続可能な車社会を支える業界団体を目指す



①本補助事業の概要・目的・各委員会の役割について

事業目的および概要

自動車車体整備を通じて社会的要請に応え、持続可能な車社会の実現に寄与することを目的に、次の4つのミッションを掲げて取り組む。

- 1.交換から修理の推進による廃棄量の低減
- 2.廃棄物のリサイクルを推進
- 3.各種法令を遵守した地球環境・労働者に優しい事業
- 4.次世代自動車に対応した整備体制の構築

①本補助事業の概要・目的・各委員会の役割について

目指すべき姿

私たちは、現代社会において地域の足、生活の足として不可欠な自動車を長く、安全・安心に整備するという社会的役割を担っている。

本連合会がSDGs宣言することで車体整備業界の社会的地位向上を推進するとともに、関係各所と良好なパートナーシップを築き、料金問題や人材不足など課題解決を図る。

①本補助事業の概要・目的・各委員会の役割について

目指すべき姿

私たちは、現代社会において地域の足、生活の足として不可欠な自動車を長く、安全・安心に整備するという社会的役割を担っている。

本連合会がSDGs宣言することで車体整備業界の社会的地位向上を推進するとともに、関係各所と良好なパートナーシップを築き、料金問題や人材不足など課題解決を図る。

①本補助事業の概要・目的・各委員会の役割について

ワーキング委員会A

テーマ：「交換から修理の推進による廃棄量の低減」

内容：テーマに基づき、廃棄量の低減につながる有効な修理技法を有識者とともに検討し、推進案を作成する

参加委員：日本技能研修機構、日本自動車車体補修協会

ワーキング委員会B

テーマ：「廃棄物のリサイクルの推進」

内容：テーマに基づき、自動車リサイクル法の適正運用とリサイクルパーツの利用促進につながる有効な手段を有識者とともに検討し、推進案を作成する

参加委員：日本自動車リサイクル部品協議会加盟3グループ

①本補助事業の概要・目的・各委員会の役割について

ワーキング委員会C

テーマ：「各種法令を遵守した地球環境・労働者に優しい事業」

内容：テーマに基づき、水性塗料ならびに特化則非該当製品の普及促進につながる有効な手段を有識者とともに検討し、推進案を作成する

参加委員：日車協連賛助会員である自動車補修塗料メーカー6社

ワーキング委員会D

テーマ：「次世代自動車に対応した整備体制の構築」

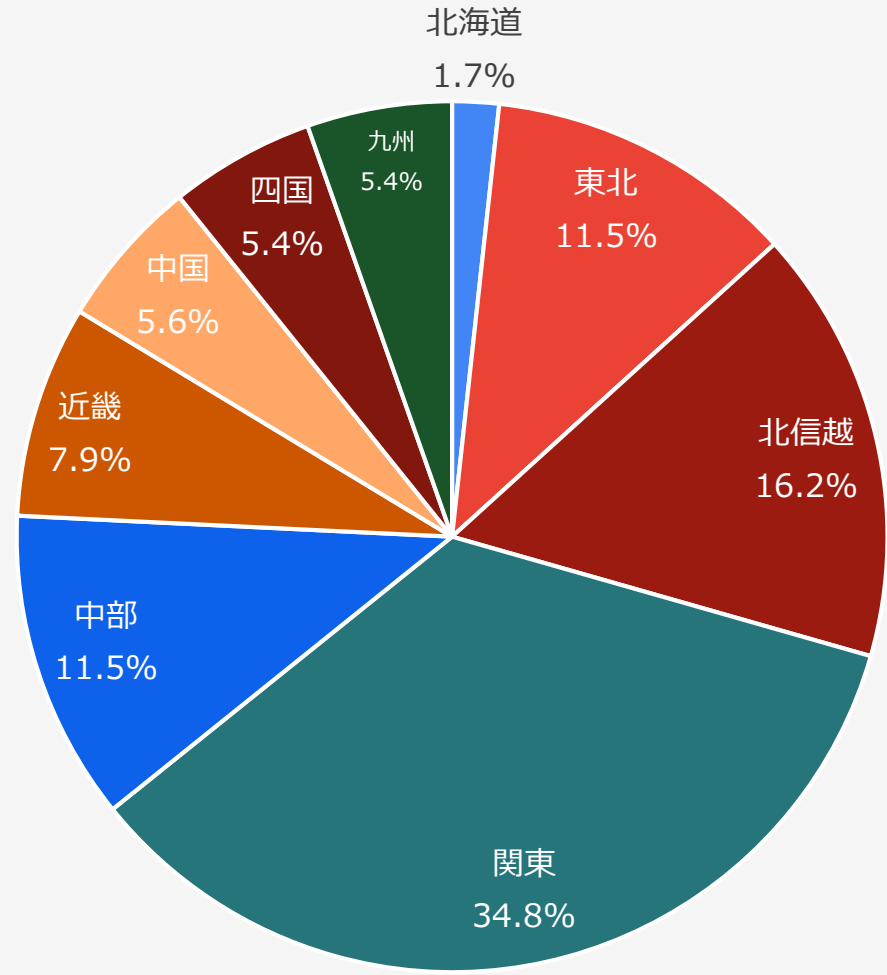
内容：テーマに基づき、ASVの整備情報ならびにEV等の整備体制の構築など次世代自動車の整備体制を有識者とともに検討し、推進案を作成する

参加委員：钣金塗装作業を内製するメーカー系ディーラーおよび関連会社3社

②アンケート結果の報告

調査期間：令和5年10月2日～10月16日
 対象：日車協連組合員
 有効回答数：520件

地域別回答数の内訳



↑↑↑ FAX 06-6227-5606 ↑↑↑
 (裏面の送信も忘れずに)

「日車協連 SDGs 宣言」作成に伴うアンケート調査

日車協連では今回、中小企業総合振興部対応支店事業(中小企業総合活動推進事業)の助成を受け、「日車協連SDGs宣言」の作成を進めています。
 「交換から修理の推進による廃棄物の削減」「廃棄物のリサイクルを推進」「各種法令を遵守した地球環境・労働者に優しい事業」「次世代自動車に対応した整備体制の構築」の4つのミッションを掲げて本報告書に取り組み、SDGs宣言を作成するに当たり、車体整備業界の現状把握を目的としたアンケート調査を実施しています。
 つぎましては、本報告書をもとに、各社、各店舗にアンケートを配布し、または電話番号を記入して、FAX送信くださいますようお願いいたします。スマートフォンまたはタブレットでの回答も受け付けています。右記QRコードを読み取り、ご回答ください。
 調査期間は10月16日(月)までです。アンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。



所属する車組	
事業所名	TEL

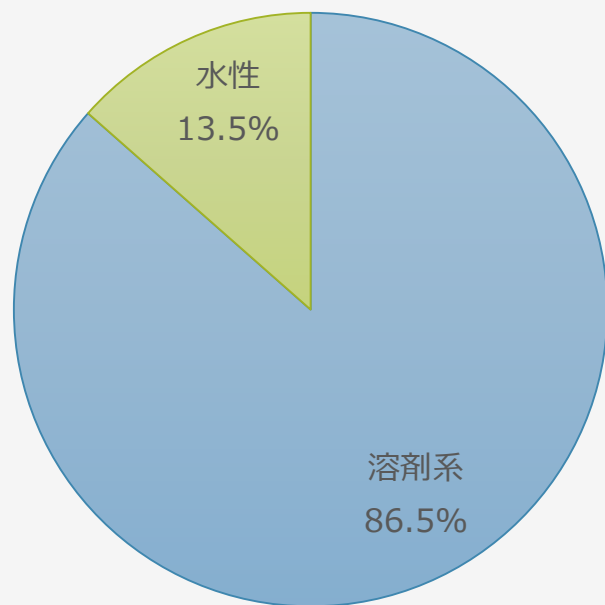
- Q1 所有する工場設備は？【複数回答可】
 分解整備装置、電子制御診断整備装置、特定整備装置(分解+電子)、診断装置、診断設備、部分専門装置、先端安全自動車対応、優良車体整備事業所、自動車整備事業所、自動車整備工場、優良自動車整備工場、自動車リサイクル施設整備事業所、フロン回収設備整備事業所
- Q2 所有する個人資格は？【複数回答可】 また分かる範囲で得意資格も記入してください
 車体整備士(人)、1級整備士(人)、2級整備士(人)、3級整備士(人)、特定整備作業主任者(人)、自動車検査員(人)、企業技術士(級)(人)、打抜き企業技術士(級)(人)、電気工事師(電気種別)特別教育(人)
- Q3 月間の新車販売高に占める部品代のおよそ割合は？
(※: 新車部品代は約550万円、旧車整備費は約1,000万円~55万円)
 部品代の割合▶ _____%
- Q4 部品代に対して何%の修理工費がもたらえるならば、交換ではなく修理を選択しますか？
(※: 部品代が10万円、5万円の場合それぞれ、5万円の場合の割合は52%)
 修理する割合▶ _____%
- Q5 ヘッドライトステーの取付の難易度は？
 0~10% (ほぼAsyaのみ)、11~49% (Asyaが多い)、50~89% (Asyaが多い)、90~100% (ほぼAsyaのみ)
- Q6 ヘッドライトステーの取付品がある場合、レンズのみを取替える割合は？
 0~10% (ほぼAsyaのみ)、11~49% (Asyaが多い)、50~89% (Asyaが多い)、90~100% (ほぼAsyaのみ)
- 裏面へつづく

↑↑↑ FAX 06-6227-5606 ↑↑↑
 (裏面の送信も忘れずに)

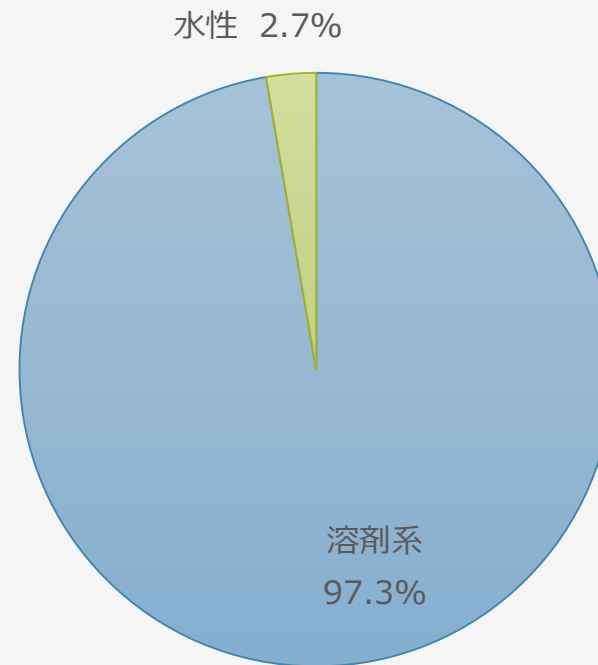
- Q7 月間の産業廃棄物処理費用はいくらかですか？ また、ここ数年の上昇割合は？
(※: 3万円が2万円よりも少ない場合は1.5%)
 処理費用▶ 約 _____万円
 ここ数年の上昇割合▶ 約 _____%
- Q8 取替える産業廃棄物処理業者の数は？ また、マニフェストの交付について該当する回答に○を付けてください
 取替社数▶ _____社
 マニフェストの交付▶ 複数交付している、一部交付している、交付していない
- Q9 取替えるリサイクルパーツ販売業者の数は？ また、月間の部品仕入れ高に占めるリサイクルパーツの割合は？
(※: 月間リサイクルパーツ仕入れ高50万円、月間部品仕入れ高500万円~10%)
 取替社数▶ _____社
 リサイクルパーツ使用割合▶ _____%
- Q10 主に使用している塗料の種類は？ また分かる範囲で、]内にメーカー名とブランド名を記入してください。
 ベースコート▶ _____系、_____系、_____系、_____系、_____系、_____系]
 クリヤー▶ _____系、_____系、_____系、_____系]
 プラップ▶ _____系、_____系、_____系、_____系、_____系]
 PA ▶ _____系、_____系、_____系、_____系、_____系]
- Q11 入庫台数に占めるエイミング作業が必要な車両とEV(PHEV含む)の割合は？
 エイミング作業が必要な車両▶ 0%、1~19%、20~39%、40~59%、60~79%、80~99%、100%
 E V (P H E V 含む)▶ 0%、1~19%、20~39%、40~59%、60~79%、80~99%、100%
- Q12 エイミング作業はどのように対応していますか？
 すべて外注、半分以上を外注、外注と内製が半々、半分以上が内製、すべて内製
- Q13 エイミング作業はどこに外注していますか？【複数回答可】
 ディーラー、整備工場、同業者(新車整備工場)、中古車販売店、カー用品店、部品会社、ガラス加工業者、電気整備業者、エイミング専門店
- Q14 エイミング作業を外注した際の平均的な納期(依頼~納入~納車までの期間)は何日ですか？
 平均▶ _____日
- Q15 ASVを整備するための情報はどこから入手していますか？【複数回答可】
 FAINES、ディーラー、整備工場、同業者(新車整備工場)、機械工具会社、塗料販売店、業界団体(車検など)、新聞・雑誌(BSRなど)、SNS(Facebookなど)、動画サイト(YouTubeなど)
- Q16 日車協連の活動に対する意見や要望などがございましたら記入ください
 [_____]
- ご回答いただき、誠にありがとうございます。
 今後とも、日車協連の運営にご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。
- ※アンケートは、各SDGs項目の達成状況を把握し、中小企業総合活動推進事業(中小企業総合活動推進事業)の助成を受けて実施しています。

②アンケート結果の報告

主に使用しているベースコートの種類は？



主に使用しているクリヤーの種類は？

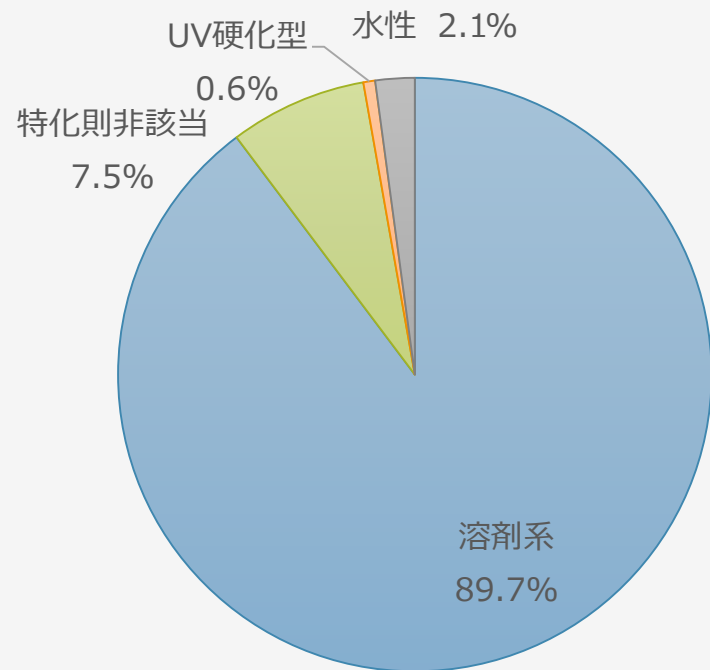


ベースコートの使用割合において、溶剤系86.5%、水性13.5%だった。認証件数と同じく、全組合員の1/8相当の回答数と小規模事業場からの回答が少ないことを加味すると、水性割合は10%前後だと推測される。

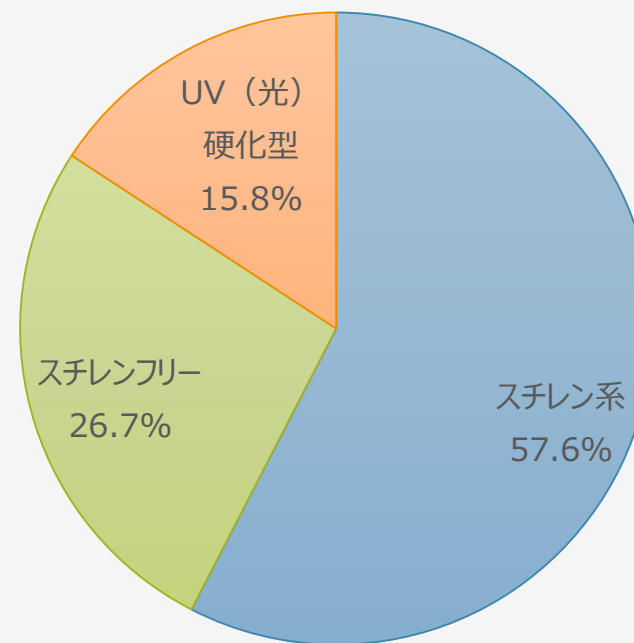
クリヤーの使用割合においては、圧倒的に溶剤系が多く97.3%で、水性はわずかに2.7%だった。こちらは、そもそも市場に流通する水性クリヤーの割合が低いことが挙げられる。

②アンケート結果の報告

主に使用しているプラサフの種類は？



主に使用しているパテの種類は？



プラサフの使用割合においては、クリヤーと同様、多くが溶剤系で89.7%で、水性が2.1%だった。回答項目に挙げていなかったが、任意回答でUV硬化型プラサフを使用する回答者もいた。

パテの使用割合においては、スチレン系が57.6%、スチレンフリーが26.7%、UV (光) 硬化型が15.8%と、ほかの塗料類と比べて環境対応製品の使用割合が高かった。メーカー各社の企業努力による性能向上もさることながら、塗装とは違い、設備機器の導入を伴わないため、普及が進みやすいと推測される。

③ 専門家委員からのヒアリング

- アンケート結果についての所感
- 各社のベースコート、クリヤー、プラサフ、パテの販売シェアおよび販売方針についての情報提供
(同業他社がいらっしゃる場なので、お話いただける範囲で)
- 水性塗料の普及促進について
(例：日車協連に●●●●の活動を期待したい、法規制を進める必要がある etc)
- 特化則非該当製品の普及促進について
(例：法令遵守の観点から特化則だけでも対応することは有効、従業員の健康被害の軽減 etc)
- 仕入れた材料代を適正に売り上げに転嫁することができれば、水性塗料ならびに特化則非該当製品の普及が進むと考えるか？



テーマ実現に向けた具体的なアクションプランへの落とし込み